

日本海洋学会幹事会 2018 年 11 月 22 日

日本海洋学会 2018 年度第 4 回幹事会議事録

日時：2018 年 11 月 22 日（木）13：31～17：38

場所：東京大学 本郷キャンパス 理学部 1 号館 807A 号室

出席者：日比谷会長、神田副会長、  
東塚、安田、安中、岡、川合、伊藤、石坂、市川、山田、事務局（毎日学術フォーラム：  
平坂）

## 議題

### 1. 議事録（案）確認（山田幹事）

第 3 回幹事会およびの秋季評議員会の議事録（案）について確認した。

第 3 回幹事会議事録については、一部修正することとなった。

### 2. 審議事項

#### （1）入退会について（東塚幹事）

2018 年 8 月～9 月の退会者（8 名）と入会者（30 名）を承認した。2018 年 9 月末の会員数は、1,585 名。

2018 年度秋季大会実行委員会において、「発表者が会員であるかどうか」を確認する作業が大変だったことについて神田副会長より伝達があった。これを受け、2018 年度秋季大会実行委員会から次年度の秋季大会実行委員会への伝達事項として、「研究発表の申込時に“会員であること（あるいは申請中であること）”をチェックする仕組みを作成すること」を入れ込むこと、これを研究発表担当から 2019 年度秋季大会実行委員会へ伝達することとなった。発表者が会員であっても、会費未納者の場合がある点の確認についても、今後検討していく必要がある。

#### （2）シンポジウムの後援・協賛等について（東塚幹事）

後援・協賛等について 2 件の依頼があり、承認された。

#### （3）募集・推薦等の依頼について（東塚幹事）

公募・推薦について 1 件、シンポジウム・講演等について 2 件、その他 4 件の依頼があり、学会メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

広報委員会宛に依頼があった情報についても、今後はこの項目に入れ込むこととなった。

学会事務局に届いた学術会議のニュースレターについて、学会 ML に流すこととなった。

#### （4）軍事研究について（東塚幹事）

2018 年度秋季評議員会において、花輪会員から寄せられた軍事研究に関する依頼に関し、学会幹事会において議論を開始することとなった。

#### （5）男女共同参画について（安中幹事）

「大学等高等教育機関の入学試験に対する声明」および「研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望」の男女共同参画学協会連絡会からの提出について、資料を幹事会でメール審議し、コメントをつけて回答することとなった。

(6) その他：

- ・若手海外渡航支援について（副会長）  
1 件の応募があり、承認された。

3. 報告事項

(1) 会長

- ・次期会長および副会長について、神田現副会長と伊藤現幹事を推薦し、選挙管理委員会へ報告した。
- ・現在、会長、副会長、監査および評議員の改選選挙が行われている。
- ・海洋観測ガイドラインについて、プロモーションを開始した。
- ・SCOR と日本海洋学会の 2019 年 9 月 25 日開催予定のジョイントシンポジウムについて、安田幹事、川合幹事、安藤幹事が企画に助力することとなった。
- ・JpGU 海洋災害対策委員会への日本海洋学会からの委員として環境対応委員に小椋会員を、防災対応委員に次期の震災対応委員（現在ペンディング中）を選出した。
- ・Springer との契約について、疑問点について回答をいただいているところ。個人情報の引き渡しについては、総会で承認を取る予定。
- ・一家に一枚ポスターは、二次審査までで落選した。
- ・日本気象学会誌「天気」にエール交換記事が掲載された。
- ・JpGU 2019 の日本海洋学会からの共催セッションとして 27 件の認定を行った。
- ・JpGU 2019 において、学術会議のユニオンセッション「地球惑星科学の進むべき道 9：大型研究計画とマスタープラン 2020」が 2019 年 5 月 27 日に開催予定であり、ここでコンテストが実施される。
- ・2018 年 10 月 22～24 日に アルゴフロートのワークショップが開催され、大型研究計画の宣伝を実施してきた。
- ・OceanObs'19 2019 年 9 月 15～20 日にホノルルのハワイコンベンションセンターで開催予定。
- ・AOGS 2019 年 7 月 28 日～8 月 2 日にシンガポールサンテックで開催予定。
- ・IUGG 2019 年 7 月 8～18 日にカナダモントリオール国際会議場で 100 周年大会が開催予定。
- ・JpGU のフェロー（12 月 31 日締切）と西田賞（12 月 15 日締切）について学会推薦を行う予定。
- ・日本海洋科学振興財団が事務所を湯島に移転予定。
- ・科学技術館の企画展に日本海洋学会も協力することになった。

(2) 副会長

- ・日本学術会議の食料科学委員会水産学分科会（古谷研委員長）において、現在、マスタープラン大型研究の取りまとめを行っている。日本海洋学会が提案予定のものについても分科会において報告したが、バッティングしないことを確認し、協力は仰げそうで

あった。

(3) 庶務 (東塚幹事・岡幹事)

- ・2018 年度秋季大会に関するアンケート集計結果について報告された。
- ・科学技術館が春休み～ゴールデンウィーク期間の企画展で海を取り上げる。海について取り上げるのは、4 回目となる。日本海洋学会には、前回の企画展で来場者から集めた、海に関する素朴な疑問への回答について作成するパネル、トークショー、サイエンスカフェ、ワークショップ等の監修や協力を依頼された。科学技術館の方で 11 月末までに基本構成要素を確定させ、日本海洋学会に具体的な依頼が来ることとなっており、できる範囲で協力する予定である。

(4) 会計 (安田幹事)

2018 年度秋季大会の会計について、問題がないことを確認したことが報告された。

(5) 研究発表 (山田幹事)

2018 年度秋季大会が無事終了した件、2019 年度春季大会から 2021 年度春季大会の予定について報告された。

(6) 選挙 (安田幹事)

2018 年度選挙管理委員の委嘱について、および今後の選挙スケジュールについて報告された。

(7) 編集

1) JO (石坂編集委員長)

①JO の発行状況 (Vol.73 (1) ~Vol.74 (6))、②JO 投稿・受理状況、③転載申請について報告があった。

2) 海の研究 (市川編集委員長)

①前回幹事会 (9 月 25 日) 以降の出版状況、②2018 年度 12 月以降の出版計画、③投稿論文状況、④転載許諾申請、⑤J-STAGE での公開について報告があった。

3) JOS ニュースレター (会長)

特に問題なく進行している旨、報告があった。

(8) 広報委員会 (安中幹事)

- ・新パンフレットについて、年会費の記載にミスがあったため、印刷し直していることが報告された。
- ・地学オリンピックに参加する高校生の冊子に日本海洋学会の広告を掲載したことが報告された。

(9) 海洋環境委員会 (山田幹事)

12 月に次年度の青い海助成基金の公募開始予定である件、1 月に委員の半数改選の作業 (人選と、選ばれた人への個別の依頼) を開始予定である件、今年度の青い海助成基金

の報告書が提出された件について報告された。

(10) 海洋観測ガイドライン編集委員会 (岡幹事)

ガイドラインの広報活動の一環として、10月15日に、IOCCP (International Ocean Carbon Coordination Project) の HP News 欄に、海洋観測ガイドライン英文版の広報記事を掲載し、同日に IOCCP のメーリングリストにも同じ記事を配信したこと、10月19日に海洋理工学会でのポスター発表と、海洋理工学会理事会 (同日昼休み時間帯に開催) での口頭説明を実施し、口頭説明・ポスターともに多くの前向きな反応 (非常に良くできている、我々としても口コミで広めたい、等) を得た件、11月28日-29日の海洋調査技術学会でもポスター発表を予定であり、12月から1月に掛けて、官庁・業界団体への訪問説明を実施予定であることについて報告された。

(11) 教育問題研究会 (伊藤幹事)

・2018年9月28日の教育問題研究会にて、響田教育問題研究会会長が2019年3月に任期終了のため、次期教育問題研究会会長について審議を行った。その結果、須賀利雄会員が次期会長として承認され、幹事会に報告することになった。

・11月10日,11日に開催されたサイエンスアゴラ 2018 に参加して「私たちの生活を支える海の小さな生き物たち」のブース出展を実施したことが報告された。

(12) 海洋生物学研究会 (伊藤幹事)

会長任期が来年3月までであるが再任となる件、副会長に田所会員を委嘱する件、海洋生物シンポジウム 2019 を3月23~24日に東京海洋大学品川キャンパスで実施予定である件について報告された。

(13) 日本地球惑星科学連合 (川合幹事)

・JpGU2019 大会に関して、今後の予定、今回の採択セッション数、今回からの主な変更点、ユニオンセッション、日本海洋学会の総会・評議員会の日程案について報告された。

・フェローと西田賞の推薦締切日について、報告された。

・その他として、セクション予算、高校生のための冬休み講座、プライバシーポリシー改訂、2020年のAGU joint meeting でのセッションタイプについて、2022年の日程・会場が未定である件について報告された。

(14) 日本海洋科学振興財団 (会長)

財政面でも再建を目指している件、研究船や練習船の利用に関する協議を続けていて、リストを作成しており、完成した際には日本海洋学会にリンクを貼りたい旨の報告があった。

(15) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (伊藤幹事)

・2018年10月29日に第2回水産・海洋科学研究連絡協議会が開催され、北出会員が出席したこと、第24期マスタープラン原案が示され、検討を依頼されたことについて報告された。

・2018年11月10日に日本学術会議主催公開シンポジウム「沿岸地域を再生させるた

日本海洋学会幹事会 2018 年 11 月 22 日

「めの水産業を考える」が開催されたことが報告された。

(16) 「一家に一枚」ポスター企画 (伊藤幹事)  
二次審査で落選したことが報告された。

(17) その他

・男女共同参画 (安中幹事)

10 月 12 日に第 16 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムが開催されたこと、アンケート調査 2 件 (属性調査、活動調査) があったことが報告された。

・国際海洋リテラシー調査について (市川幹事)

国際海洋リテラシー調査は、ウェブサイトが完成次第開始される旨、報告された。

以上

次回幹事会

日時：未定 (1 月)

場所：未定